

社会との関わり

一つの企業として、一人の市民として、地域活動に積極的に参画し、社会に貢献しています。

地域とのコミュニケーション

■ 「第1回 国際クラス別全日本卓球選手権大会」を支援 (日本肢体不自由者卓球協会主催)

大阪市舞洲障害者スポーツセンターアミティ舞洲で開催された「第1回 国際クラス別全日本卓球選手権大会」では、当社のボランティアグループがお手伝いをしました。



大会風景

■ パンケーキ販売

2009年6月から大阪府が推進する「授産施設収入倍増プロジェクト」に協力しています。

毎月1回、昼休みに当社の食堂の一角を授産施設の出店場所として提供し、クッキー・パウンドケーキ・パンなどを販売しています。毎回ほぼ完売の状態、作業所からもよるこばれています。同プロジェクトではこのほかインクカートリッジ回収事業のお手伝いも行っています。



販売風景

Topics

塗料を地元の学校へ提供

小牧事業所では地域とのコミュニケーションの一環として、学校活動などに使用する塗料を地元の学校へ提供しています。当社からは環境にやさしい水系塗料「DNTビューレタン」を提供し、地域活動に貢献しています。



春日井アートプロジェクト・ライブイベントの様子

◎ 教育支援の取り組み

■ 支援学校体験実習の受け入れ

おおさか人材雇用開発人権センターの要請により、吹田支援学校の就業体験実習を受け入れました。実習生は2週間の清掃業務の体験と指導を経て、2010年4月から当社に採用されました。

過去3年間のこれらの取り組みが評価され、2010年5月には大阪府労働部、大阪市民政局から、それぞれ「就職マッチング賞」「アウトソーシング賞」を受賞しました。



実習の様子

◎ グループ会社の取り組み

■ 職場体験受け入れ(ビーオーケミカル(株))

ビーオーケミカル(株)では毎年、地域とのコミュニケーションの一環として工場周辺の中学校からの職場体験学習に協力しています。

2009年も6月と9月には2つの中学校から男子生徒合わせて6名を受け入れました。

職場体験学習は安全教育から始まり、技術課では塗料についての基礎学習、塗装や調色のほか、製造部のラベル貼り補助も体験してもらいました。

体験終了後に届くお礼状には「今回一番印象に残ったのは昼食が美味しかったです」などの感想文が添えられていました。



職場体験学習の様子

Topics

中国より研修生を受け入れ

2009年12月、中国の当社水系塗料拠点である合併会社「AJISCO-DNT(Ningbo)Paint Co.,Ltd.(中国)」から5名の研修生を受け入れました。

受け入れ先である小牧・那須の両工場では約3週間にわたって生産工程を学びましたが、各工程担当者の品質管理に対する意識の高さに接するなど、得るところは多かったようです。

当社の塗料が実際に使われている東京地区の物件塗装現場では、お客さまに満足いただいている様子を実際に確認したり、カラーセンター東京・シンロイヒ(株)大船工場では色彩ノウハウを学ぶなど多くの貴重な体験を重ね、非常に有益だったと思います。

休日には東京の下町などで日本の文化に触れたことも、忘れていたい思い出となったようです。研修生たちの今後の中国での活躍を期待しています。



「小牧工場」生産研修記念写真



「シンロイヒ」塗装研修風景